

ウォークラリー

1 活動のねらい

コマ地図を見ながら、グループでポイントを巡り、そこにある課題を協力し合って解きながらコースを一周する中で、自然に親しむ態度を育てます。

2 育てたい能力

A6 視野・判断 A4 交友・協調 B2 自然への関心 A1 自立

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

あなぐまコース（比較的容易なコース）：小学生向き

※グループ数が多い場合も逆回りのBコースを同時併用可能です。

4 活動時期

4月～11月

5 所要時間

2時間～3時間

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

・筆記用具 ・ホイッスル ・雨具 ・軍手 ・活動に適した服装

【自然の家で貸し出しできるもの】

・コマ地図 ・課題、解答用紙 ・バインダー ・無線機1台（自然の家と団体との緊急連絡用）



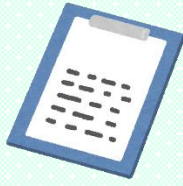
8 活動の手順

（1）事前

- ①自然の家職員と打ち合わせを行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立てます。
- ②引率者の役割分担および参加者の班編成・係分担を明確にし、協力して安全に実施できるようにします。
 - ・本部：全体指揮、自然の家との連絡
 - ・スタート、ゴール係：用具の準備と後始末、記録等
 - ・パトロール係：コースの巡回、安全確保等
- ③安全確保のため、服装や装備についての事前指導を行います。
- ④グループ編成をしておきます。1つのグループは6名程度が望ましいです。

(2) 活動

①出発にあたって、自然の家事務室に報告し、用具を借ります。



②人数確認、服装・装備・持ち物の点検、健康状態のチェックをします。



③活動のねらいや注意点を説明します。



④つどいの広場をスタート・ゴールとし、コマ地図を見ながら各ポイントで協力して課題を解決していきます。

⑤スタートは、3～5分位の間隔を置いてグループごと出発してください。



⑥全員ゴールしたら、解答を配付し、各グループで答え合わせをします。



⑦自然の家事務室に活動終了の報告をし、借用物品を返却します。

(3) 事後

感想発表等をおこない活動を振り返りましょう。

9 留意点

- ・事前、事後の健康管理に留意してください。
- ・班員は必ず**まとまって行動し、バラバラにならないよう事前指導**を徹底してください。
- ・活動以終了後にならず**点呼**をとって、**人数確認**を行ってください。
- ・迷ったら、歩き回らないで前のポイントまで戻りましょう。
- ・樹木を傷つけるといった自然破壊をしないように注意してください。
- ・事故防止に十分注意し、安全な活動に留意してください。
- ・雷雨などの天候の急変時には、班員がまとまって行動し対応してください。
- ・コースの登りや下りでは落石させないように十分に注意してください。
- ・事故発生時には、直ちに団体の指導者及び自然の家事務室に連絡してください。
- ・コース中に団体独自の課題を設定することも可能です。
- ・時間を競わせるより、自然に目を向けた活動とすることが大切です。
- ・あなぐまコースは「沢遊び」活動と組み合わせることもできます。

例：あなぐまコースチェックポイント⑦+沢① あなぐまコースチェックポイント⑧+沢②